

## 認識しているリスクの詳細

リスク分類		事象例	社会や経済への影響例	当社グループの事業活動におけるリスク	時間軸	当社グループの主な対応策(リスク軽減策)
物理的 リスク	急性	・自然災害の増加 ・少雨や干ばつ等の気象の変化 ・病虫害の発生	・自然災害被害の増大に伴う事業停止・管理コスト増加 ・農林水産物の収穫量の低下 ・感染症の発生	・取引先の業績悪化による信用コストの増加 ・投融資先による自然資本破損が発生した場合のレピュテーションの悪化	短期	・取引先への情報提供・啓発、コンサルティングの実施 ・提携先の拡充等によるソリューションメニューの充実
	慢性	・土地および海洋利用の変化 ・湿地や森林の荒廃 ・生態系の変化 ・汚染 ・農林水産資源の枯渇化 ・水等資源供給の減少 ・伝染病媒介生物の生息地の変化 ・侵略的外来種の増加	・生産プロセスおよびバリューチェーンの破損 ・海水による操業停止 ・事業のリロケーションおよび調整 ・原材料等の調達コスト増加 ・受粉や水資源涵養等の生態系サービスの低下		中期～長期	
移行 リスク	政策／規制	・規制・基準の導入・強化 ・生産量規制の変化 ・訴訟の増加	・規制・基準への対応コストの発生・増加 ・調達量の減少、価格上昇によるコストの増加 ・訴訟対応コストの増加	・取引先の業績悪化による信用コストの増加 ・変化に対応できないことによる収益機会の逸失 ・競争力の低下	中期	・継続的な情報収集と動向把握に基づく対応策の策定 ・取引先への情報提供・啓発、コンサルティングの実施 ・提携先の拡充等によるソリューションメニューの充実
	市場／業界	・消費者行動の変化 ・商品・サービスに対する需要と供給の変化 ・サプライチェーンからの要請拡大(トレーサビリティ、認証など)	・売上機会・顧客の喪失 ・対応コストの増加(例:認証取得費用) ・自然資本・生物多様性に配慮した調達に伴うコストの増加 ・業界勢力図の変化		短期～中期	
	技術	・自然資本・生物多様性に配慮した技術の開発・普及	・産業構造・事業競争力の変化 ・技術開発・導入コストの増加		中期～長期	
	評判	・自然資本の破損への関与や対応の遅れ、不十分な場合の批判や評価の低下	・ブランド価値の破損、抗議行動、不買運動 ・投資家・金融機関からの評価の低下に伴う資金調達の困難化 ・従業員エンゲージメントの低下	・レピュテーションの悪化 ・顧客離れや企業イメージ・ESG評価の低下	中期～長期	・適切な情報発信とステークホルダーとの対話の実施
	訴訟／賠償責任	・法規制、判例法の発展による賠償責任の発生 ・既存法規制の強化や新たな法規制の導入に伴う賠償責任・行政処分 ・生態系への影響に対する反対運動による賠償責任	・自然資本・生物多様性への破損が高まり、企業活動における対応が広範となり、スキルを有する人材確保が課題となる	・自然資本・生物多様性の知見を有する人材の確保 ・投融資先による自然資本破損が発生した場合のレピュテーション悪化	短期～中期	・継続的な情報収集と動向把握に基づく対応策の策定
システムリスク	生態系の安定性リスク	・自然の喪失により、自然が重要な生態系サービスを提供できなくなることによる、連鎖的な自然破壊 ・人獣共通感染症の発生(例:COVID-19)	・複数の業種で同時に大きな財務的な損失が発生(例:乱獲による漁業の崩壊、原材料の調達困難化等) ・パンデミック発生による、社会・経済活動の停滞	・取引先の業績悪化による信用コストの増加 ・営業活動が停滞することによる収益機会の逸失	短期～長期	・シナリオ分析の高度化 ・コンティンジエンシープランの定期的な見直し
	金融安定性リスク	・複数の政策・法律・技術的対応、社会的対応の同時発生	・多くのセクターや個人の生活への財務的・社会的影響の発生		短期～長期	

\* 短期: 5年程度、中期: 10年程度、長期: 30年程度